

トータルケア・システム

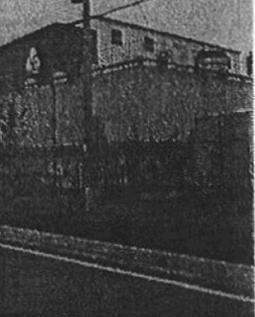
トータルケア・システムを再び紙おむつなど、テム(福岡市・長武志社長、☎092・433・1033)は使用済み紙おむつリサイクルは、世界でも他に例がないという。

の再生パルプを回収する予定。当面はパルプ

紙おむつリサイクル工場の外観

高齢化が

モールド(卵や果物の橋桁材)やスラック石こう板(建設用防火板)などに利用するが、最終的には紙おむつのパルプ原料に使用したい



進む日本で、紙おむつの需要は年間10%以上増えており、生産量は年間34万トンのほ

内初紙

事業化

ル工場の本格稼働に伴い、3月25日、福岡県

新工場「ラフ・フォレスト大牟田」は大牟田

病院などから回収した使用済み紙おむつは

処理した後の水も循環り扱うケア・ルートサ利用される。劣化した

大牟田市内で竣工式と工場見学会を催した。

田エコタウン内に立地し、総事業費は土地代

1トリスやワタキューセイエモ、紙おむつメーカーのユニ・チャ

事業化は国内初。海外を含め、約6億円。県

を含まず約6億円。県入。粉砕・振動などの工程を経て、パルプ、

汚泥は土壌改良材などに、不織布とフィルムム、福岡県内の医療機関9病院などが共同出

ではオランダで紙おむつの回収パルプを段ボール原紙に利用する事

市、経産省から計2億6000万円の補助を受け、処理能力は日

は燃料への利用を関し、新会社のトータルケア・システムを設立した。

大牟田エコタウンで竣工式

例があるが、回収パルプ量20トンで、約2.5トンのし尿や汚物を排水

立した。